

# 『開国史研究』 第二十五号

令和7年（2025年）3月発行

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <開国史研究会総会・記念講演>

幕末維新时期における全国的流通の変容と浦賀湊

—新興海運勢力の浦賀進出—

東北学院大学経営学部教授

齊藤 善之

## <開国史研究講演会>

「近代日本経済の父」渋沢栄一を知る

歴史から学ぶ企業経営 —経営の本質は経営者自らの中にある—

かながわ信用金庫会長

平松 廣司

ちよん髷姿の按針さん

碓井 文昭

横須賀製鉄所設置スチームハンマーの技術の源流を探る

—イギリス製の検証—

白石 健一

## <史料紹介>

蘭学者鹿田文平の翻訳した西洋砲術書『海軍要略』

今津 浩一

# 『開国史研究』 第二十四号

令和6年(2024年)3月発行

口絵『1853年7月14日 ペリー提督率いるアメリカ遠征隊の日本上陸』

口絵解説 神奈川県立歴史博物館主任学芸員 嶋村 元宏

『開国史研究』発刊にあたり 横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## <開国史研究会 総会・記念講演>

ペリー来航170周年記念

描かれたペリー来航 一画像史料にみる日本開国一

神奈川県立歴史博物館主任学芸員 嶋村 元宏

## <開国史講演会>

ペリー来航170周年記念

変わる黒船のイメージ 一黒船のカルチャーショック一

了仙寺住職 松井 大英

浦賀郷学校から浦賀小学校へ

久保木 実

幕末大名の軍事知識 一ペリー艦隊対抗策について一

今津 浩一

## <史料紹介>

サラセン号浦賀来航の記録(五)

齋藤 純

# 『開国史研究』第二十三号 令和5年(2022年)3月発行

口絵『弘化四年浦賀湊海岸鳥観図』

口絵解説

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

齋藤 純

山本 詔一

## <開国史研究会 総会記念講演>

横須賀の発展と海軍 ―造船とその時代―

國學院大學文学部兼任講師 高村 聰史

## <開国史講演会>

幕末社会 ―ペリー来航による社会変動―

明治大学情報コミュニケーション学部教授 須田 努

## <開国史研究講座>

日本を開国させた男、松平忠固

拓殖大学政経学部教授

関 良基

日米和親条約における領事等駐在規定をめぐる考察―改訂増補―

今津 浩一

デンマーク船ガラテア号の来航とその意義

山本 慧

『東福寺詣』を読む

山本 詔一

<和歌翻訳> 田辺 康仁

<資料翻刻> 倉沢 千恵

## <史料紹介>

サラセン号浦賀来航の記録(四)

齋藤 純

# 『開国史研究』 第二十二号 令和4年（2022年）3月発行

口絵『美人（花魁）』

口絵解説 国立歴史民俗博物館名誉教授 横山 百合子  
『開国史研究』発刊にあたり 横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## <開国史講演会>

遊郭から見た明治維新

—日本洋画の父 高橋由一の油彩画「花魁」をめぐって—

国立歴史民俗博物館名誉教授 横山 百合子

## <開国史研究講座>

横須賀に西洋館がやってきた —ティボディエ邸の再現と展示—

横須賀市教育委員会生涯学習課文化財担当 亀井 泰司

ペリーは、なぜ日本に来たか —その隠された目的—

今津 浩一

異国船情報提供を契約していた浦賀商人 —紀伊国屋伊兵衛の場合—

齋藤 純

## <史跡めぐりレポート>

東側の浦賀道を巡る（一） —保土ヶ谷～金沢八景—

横須賀開国史研究会幹事 安保 進

## <史料紹介>

サラセン号浦賀来航の記録（三）

齋藤 純

# 『開国史研究』第二十一号 令和3年(2021年)3月発行

口絵『浦賀屯営』

口絵解説

齋藤 純

『開国史研究』第二十一号の発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <開国史講演会>

世界史からみる日本の開国と横須賀

東京大学名誉教授

宮地 正人

池田頼方『道中心乃栞』を読む

増 渕 勝一

(史料翻刻) 倉 沢 千恵

日米和親条約の第十一条問題再考

東 郷 えりか

浦賀屯営について ―安達書簡によせて―

齋藤 純

『邊蛮彙議』の欄外注記に関する考察

今 津 浩一

## <史料紹介>

サラセン号浦賀来航の記録(二)

齋藤 純

# 『開国史研究』 第二十号

令和2年（2020年）3月発行

—創刊二十周年記念号—

口絵『軍艦・八雲の浦賀ドック入渠風景』

口絵解説

山本 詔一

第二十号発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <シンポジウム>

二十年を振り返る

パネリスト 加藤 祐三・平尾 信子・齋藤 純

コーディネーター 山本 詔一

## <総会記念講演>

浦賀奉行所の明治維新 —奉行・与力・同心たちのその後—

齋藤 純

## <開国史研究講座>

横須賀からみる海の幕末変革史

神谷 大介

軍港都市の財政問題 —戦前期の横須賀市財政—

大豆生田 稔

浦賀のええじゃないか

山本 詔一

## <史料紹介>

「浦賀へ異国船か来たり嘶かまちへ（町まち）」

齋藤 純

—ペリー来航時の浦賀特製戯れ歌—

「古文書を読む会」の記録（3）

有馬 正泰

横須賀開国史研究会 二十年のあゆみ

「開国史研究」総目録

「よこすか開国史かわら版」総目録

# 『開国史研究』第十九号

平成31年(2019年)3月発行

口絵『サラセン号船図』

口絵解説

第十九号発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

齋藤 純

山本 詔一

## <総会記念講演>

ペリーとハリスのあいだ ―世界史のなかの日本開国―

京都橘大学准教授

後藤 敦史

## <開国史講演会>

小栗上野介と横須賀製鉄所(造船所)

東善寺住職

村上 泰賢

## <開国史研究講座>

近代横須賀の市政と人々

日本女子大学名誉教授

吉良 芳恵

ペリー来航対策の大名上申書

今津 浩一

―徳川斉昭編「邊蛮彙議」による分析―

名村五八郎と仲間たち ―日本近代化への実動部隊―

碓井 文昭

旧横須賀軍港・逸見波止場衛門の特徴と意義

白石 健一

『横須賀繁昌記』を読む(八)

山本 詔一

## <史料紹介>

上野介小栗君紀功碑について

樋口 雄彦

サラセン号浦賀来航の記録(一)

齋藤 純

ブラザーズ号浦賀来航の記録・補遺(二)

齋藤 純

# 『開国史研究』第十八号

平成30年(2018年)3月発行

口絵『ポーハタン号船図』 田中 葉子  
口絵解説 岩下 哲典  
『開国史研究』発刊にあたり 横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## <総会記念講演>

「生き方雑記帖 —ジョン万次郎調査行— 作家 山本 一力

## <開国史講演会>

黒船来航絵巻「金海奇観」とその時代 東洋大学文学部教授 岩下 哲典  
—仙台藩儒者・砲術家大磐溪とペリー再来日—

## <開国史研究講演録>

軍港都市の陸軍—平時と戦時の重砲兵— 高村 聰史

前島密と横須賀 辻井 善彌  
日本遺産とその施設建設に携わった主な海軍技師たち 長浜 つぐお  
横浜からの手紙 齊藤 純

—松代藩絵師高川文筈と「横浜応接場秘図」—  
『横須賀繁昌記』を読む(七) 山本 詔一  
浦賀奉行戸田伊豆守氏栄と大垣藩城代家老小原鉄心 丸山 克彦  
浦賀奉行所の与力と同心について 山本 慧

# 『開国史研究』 第十七号

平成 29 年 (2017 年) 3 月発行

口絵『ブラザーズ号船図』

口絵解説

『開国史研究』 発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

齋藤 純

山本 詔一

## <総会記念講演>

横須賀製鉄所の妹・富岡製糸場

歴史時代小説家

植松 三十里

## <開国史シンポジウム>

ペリー来航とその後の浦賀町

横浜開港資料館副館長

西川 武臣

文政元年ブラザーズ号の浦賀来航

齋藤 純

ブラザーズ号の浦賀来航の記録・補遺

齋藤 純

日本開国を決断させたのは誰か

今津 浩一

— 『ペリー日本遠征記』 とオランダ官報をめぐって—

史跡 東京湾要塞跡

野内 秀明

猿島砲台跡・千代ヶ崎砲台跡

『横須賀繁昌記』を読む (六)

山本 詔一

ペリーとピストルと桜田門事変

澤田 平

# 『開国史研究』第十六号

平成 28 年（2016 年）3 月発行

口絵『日本名勝図会 観音崎』

口絵解説

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

山本 詔一

## <総会記念講演>

横須賀造船所再考

東京大学教授

鈴木 淳

—地元出身者の就業に注目して—

## <開国史講演会>

幕府の運命、日本の運命

東善寺住職

村上 泰賢

—小栗上野介の日本改造と横須賀製鉄所—

## <開国史研究講座 講義録>

海軍のマザーランド・横須賀の歩み

防衛大学校名誉教授

田中 宏巳

私の開国史研究

元横浜市立大学学長

加藤 祐三

横須賀製鉄所をめぐる柴田使節団のフランスでの活動

塚越 俊志

山高左太夫考

齋藤 純

—ニセ横須賀奉行騙り事件の横須賀製鉄所伝習生—

横須賀造船所で製造された我国初の陀螺水車

白石 健一

『横須賀繁盛記を読む』（五）

山本 詔一

横須賀製鉄所（造船所）関係文献目録

有馬 正泰・齋藤 純

「古文書を読む会」の記録（2）

深谷 進

# 『開国史研究』第十五号

平成27年(2015年)3月発行

口絵資料紹介・解説『大日本名所図会 横須賀湊風景』 久保木 実  
『開国史研究』発刊にあたり 横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## <総会記念講演>

幕臣小栗上野介忠順の幕政改革構想と横須賀製鉄所  
国立歴史民俗博物館名誉教授 高橋 敏

## <開国史講演会>

第一部 講演 富岡製糸場の設立に関わる横須賀製鉄所との関連性について  
富岡製糸場総合研究センター学芸員 岡野 雅枝

第二部 対談  
富岡製糸場総合研究センター学芸員 岡野 雅枝  
横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## <開国史研究講座 講義録>

横須賀製鉄所の人々 横浜国立大学名誉教授 西堀 昭  
—日本近代化の原点—

## <レポート>

幕末の横須賀製鉄所 山本 詔一  
『井関隆子日記』に見る浦賀奉行以前の戸田氏栄 大河内 将俊

## <史料を読む>

ブラザース号浦賀来航の記録 齋藤 純

# 『開国史研究』 第十四号

平成 26 年（2014 年）3 月発行

口絵資料紹介・解説『新工夫絵花火』

田中 葉子

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

かわら版のなかのペルリたち

東京都北区教育委員会文化財専門員

田中 葉子

## <開国史講演会>

第一部 講演 山国会津の侍、日本の海を守る

―幕末会津藩海防史―

前会津若松市立会津図書館長

野口 信一

第二部 対談

前会津若松市立会津図書館長

野口 信一

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <史料を読む>

『横須賀繁昌記』を読む（四）

山本 詔一

## <レポート>

異国船来航と炊き出しについて（その二）

山本 慧

開国の設計図

今津 浩一

―古賀謹一郎のペリー対策上申書

# 『開国史研究』第十三号

平成 25 年 (2013 年) 3 月発行

口絵資料紹介・解説『サラトガ号』

平尾 信子

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

日本開国史を見なおすために  
—江戸湾を舞台に—

北海道大学名誉教授

井上 勝生

## <開国史講演会>

ぺるり物語 (第一部) 講演  
(第二部) 対談

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

元専修大学講師

齋藤 純

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <開国史研究講座講義録>

徳川将軍の「旅」と浦賀  
—天保の日光社参と文久上洛—

椿田 有希子

## <史料を読む>

『横須賀繁昌記』を読む (三)  
『嘉永新聞』と越後高田藩

山本 詔一

齋藤 純

## <研究レポート>

詳解浦賀詰通詞  
ペリー提督チェスト

山本 慧

碓井 文昭

# 『開国史研究』第十二号

平成 24 年 (2012 年) 3 月発行

口絵資料紹介・解説『アメリカ船図』

齋藤 純

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

湊町浦賀と人びとの暮らし

東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授

吉田 ゆり子

## <開国史講演会>

「黒船」を見た人びと

元専修大学講師

齋藤 純

—ペリー艦隊浦賀来航を目撃した記録からわかってきたこと—

## <論文>

下田港の台場について

浅川 道夫

## <史料を読む>

『横須賀繁昌記』を読む (二)

山本 詔一

『浦賀奉行 井戸石見守筆記』を読む (二)

大出 鍋蔵

## <研究レポート>

異国船来航と炊き出しについて (その一)

山本 慧

柴田使節団の派遣と任務、及び帰国後の動向について

塚越 俊志

## <書評>

今津浩一著『ペリー提督と開国条約』

岩下 哲典

# 『開国史研究』 第十一号

平成 23 年 (2011 年) 3 月発行

口絵資料紹介・解説

『天保十五甲辰年三月以来浦賀

湊江異国船漂着船之絵図并ニ国名乗込人数銘々記』

山本 慧

『開国史研究』 発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

知られざる幕府海軍総裁・矢田堀景蔵

歴史時代小説家

植松 三十里

## <論文>

沼津藩の海防と伊豆東岸の台場

浅川 道夫

## <史料を読む>

『横須賀繁昌記』を読む (一)

山本 詔一

『浦賀奉行 井戸石見守筆記』を読む

大出 鍋蔵

## <投稿コーナー>

浦賀奉行組与力 中島三郎助の江戸湾海防論

小川 直樹

日米和親条約における領事駐在規定をめぐる考察 ～補遺～

今津 浩一

江戸湾海防における横文字書付と通詞

山本 慧

## <報告記事>

『オネイダ』と『アメリカ』 ～江戸湾での二件の惨事～

碓井 文昭

# 『開国史研究』 第十号

平成 22 年 (2010 年) 3 月発行

口絵資料紹介・解説『海軍水雷学校』

山本 詔一

『開国史研究』 発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

「開国」とは何だったのか

立教大学教授

荒野 泰典

— いわゆる「鎖国」との関連で考える —

## <論文>

浦賀の郷兵について

浅川 道夫

## <史料紹介>

ペリー艦隊浦賀来航直後に流布していた

齋藤 純

「太平のねむけをさます上喜撰」狂歌

## <研究レポート>

日米和親条約における領事駐在規定をめぐる考察

今津 浩一

— 日本側交渉団が意図的に条文を改編したのか —

私見、ペリー記念碑と日露戦争

碓井 文昭

— 米国より里帰りの資料から —

『浦賀史料』 異国船渡来之節御褒美之控を読んで

大河内 将俊

『関譏規則』の現代語要約 (その六)

大出 鍋蔵

文久二年の竹内使節団によるフランス訪問の意義について

塚越 俊志

## <投稿コーナー>

「古文書を読む会」十年の記録

深谷 進

在庫わずか

# 『開国史研究』 第九号

平成 21 年 (2009 年) 3 月発行

口絵資料紹介・解説『横須賀軍港鎮遠号観覧之図』  
『開国史研究』発刊にあたり 横須賀開国史研究会会長

山本 詔一  
山本 詔一

## <総会記念講演>

アジアの中の日本開国 神奈川県立歴史博物館 嶋村 元宏

## <論文>

長崎青方文書「浦賀実録」の検討  
ー狂歌「泰平の」の成立をめぐってー 田中 葉子  
幕末、洋才和魂の諸相 岩下 哲典  
ー水戸藩を中心にー 草間 俊郎  
浦賀奉行所の鋳砲事業 浅川 道夫

## <研究レポート>

幕末期、通詞達の活躍とその業績 新井 三郎  
『異国船之事』 ー「ビッドル効果」とはー 杉浦 隆之

## <資料紹介>

竹ヶ岡台場関係文献・史料目録 山本 哲也  
浅川 道夫  
1853年5月7日付  
THE ILLUSTRATED LONDON NEWS の要訳について 高野 栄一  
ー米国艦隊の日本遠征ー

## <その他>

猶ほ土蔵附売家の栄誉を残す可し 大出 鍋蔵  
ー横須賀製鉄所(造船所)創立異聞ー  
タウンゼンド・ハリス雑感 碓井 文昭  
中島三郎助の修行した武術について 大河内 将俊

# 『開国史研究』 第八号

平成 20 年（2008 年）3 月発行

口絵資料紹介・解説『捕鯨船マンハッタン号浦賀来航図』 平尾 信子  
『開国史研究』発刊にあたり 横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## ＜総会記念講演＞

幕末来日の外国人が見た庶民教育 元専修大学教授 青木 美智男  
～ペリー、シューリマンの見聞記から～

## ＜論文＞

文久三年における浦賀奉行所の砲術演習 拓殖大学講師 浅川 道夫  
－「浦賀史料」収載文書の分析を中心に－

## ＜研究レポート＞

『関機規則』の現代語要約（その五） 大出 鍋蔵  
中島三郎助の由緒書からみた御褒美について 大河内 将俊  
「実録」横須賀の空襲 岡野 弘男  
－「B25 爆弾機」の行動を明らかにする－  
中島三郎助御令姉婚家筋穂積家関連系譜他 穂積 総一郎  
定詰通詞が浦賀奉行所に与えた影響について 松方 尚義  
大出 鍋蔵

## ＜投稿コーナー＞

開国史研究会とウォーキング 黒沢 四郎  
研究講座「ペリー艦隊サラトガ号の大航海」を受講して 大西 俊明  
会津の伝統芸能「彼岸獅子」を守る子どもたち 田平 憲一郎  
会津若松訪問交流記 橋本 紘一  
唐人船 坪 三次

## ＜資料紹介＞

浦賀奉行所関係史料『新訂 臼井家文書 第五巻』 浦賀古文書研究会編

## ＜新発見史料＞

『ペリー日本遠征艦隊サラトガ号 平尾 信子  
ウォーカー艦長公式通信複写集』について

# 『開国史研究』第七号

平成19年(2007年)3月発行

口絵資料紹介・解説『異国舟之図』

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

久保木 実

山本 詔一

## <総会記念講演>

長期危機への対応

東京大学大学院教授

三谷 博

～十九世紀前半の対外政策～

## <論文>

川越藩の相州警備

浅川 道夫

## <研究レポート>

『関畿規則』の現代語要約(その四)

咸臨丸乗組員と横須賀製鉄所

古文書を読む『副題 長州藩医 飯田正伯について』

佐倉藩の相州警備について

大出 鍋蔵

佐々木 寛

松方 尚義

山本 哲也

## <その他>

【史料紹介】彦根藩の相州諸台場に関する史料

【史料紹介】『清英阿片一件風説書』と幕末の海防

「開国史に関する古文書を読む会」浦賀行日記

「開国史基礎講座」受講の概要

研究講座ならびに史跡めぐりに参加して

横須賀開国史研究会への投稿

横須賀開国史研究会に参加して

開国と電信(Ⅱ)

浅川 道夫

大出 鍋蔵

大塚 進

佐々木 成

開国史研究会会員

橋本 鉦一

酒井 俊生

坪 三次

# 『開国史研究』 第六号

平成 18 年 (2006 年) 5 月発行

口絵資料紹介・解説『相房御台場』

山本 詔一

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

江戸 260 年の天下泰平と開国

(財) 徳川記念財団理事長・徳川家第 18 代当主

徳川 恒孝

## <開国史講演会>

技術者小野正作の自伝に見る明治初年の横須賀造船所

東京大学助教授

鈴木 淳

## <論文>

会津藩の江戸湾警備

浅川 道夫

ペリー来航をめぐる狂歌

田中 葉子

—「泰平の眠りをさますじようきせん」の検討—

会津藩の江戸湾警備と房総諸藩の動向

山本 哲也

—弘化・嘉永期を中心に—

## <研究レポート>

ペリー来航異聞

大出 鍋蔵

—ペリーは「白旗」も「書簡」も渡していない—

中島三郎助関連余聞

松方 尚義

別段風説書と江戸の鉄砲師

北村 陽子

## <投稿コーナー>

異船来航と古文書

坪 三次

# 『開国史研究』 第五号

平成 17 年（2005 年）5 月発行

口絵資料紹介・解説『擬芝居番付世界国尽くし』の絵図  
『開国史研究』発刊にあたり  
田中 葉子  
横須賀開国史研究会会長  
山本 詔一

## <総会記念講演>

黒船来航時に演奏された音楽  
放送大学助教授  
笠原 潔

## <論文>

ペリー提督の上陸用舟艇  
彦根藩の相州警備と西洋流砲術  
ペリー来航以前における浦賀奉行所の白旗認識と異国船対策  
ーペリーの白旗書簡論争へのひとつの回答ー  
長州藩の相州警備に見る預所経営と民政思想  
北村 陽子  
浅川 道夫  
岩下 哲典  
竹本 知行

## <研究レポート>

「旗本土方家文書」に見られる  
幕末最後の浦賀奉行土方出雲守勝敬関係史料  
生麦事件の賠償金穴埋（？）の一考察  
過去帳に見る中島三郎助ならびにそのルーツ  
「関譏規則」について（その三）  
高木 文夫  
大出 鍋蔵  
松方 尚義  
大出 鍋蔵

## <投稿コーナー>

食べもの百年の変化  
ー食料を自給していたころーそして今は  
久里浜上陸から東京湾の現状まで  
佐々倉 洋一  
坪 三次

# 『開国史研究』 第四号

平成 16 年 (2004 年) 5 月発行

口絵資料紹介・解説『横須賀一覧図』

山本 詔一

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

モリソン号事件とマンハッタン号事件 —文化の誤解から認識へ—

国学院大学非常勤講師・作家 春名 徹

## <研究レポート>

国旗日の丸のルーツは

石井 行夫

—浦賀建造の幕府軍艦・鳳凰丸—

『南浦書信』を読む

大出 鍋蔵

—幕閣と浦賀奉行の異国船対策—

鳳凰丸の帆走について

村上 太

「関機規則」について (その二)

大出 鍋蔵

## <投稿コーナー>

「スループ船評議」について

山本 詔一

黒船来航久里浜上陸の図

坪 三次

中島三郎助および関連系譜

松方 尚義

## <特別収録>

ペリーよりデラノへの書簡

平尾 信子

—日本遠征艦隊派遣をめぐる—

# 『開国史研究』 第三号

平成 15 年（2003 年）5 月発行

口絵資料紹介・解説『ハイネ画久里浜上陸之図』 山本 詔一  
『開国史研究』発刊にあたり 横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## <総会記念講演>

東京湾内の台場建設と地域住民

横浜開港資料館調査研究員 西川 武臣

## <開国史講演会>

ペリー来航、その予兆と現実

明海大学助教授 岩下 哲典

－吉田松陰の情報収集と白旗書簡への評価－

## <論文>

浦賀奉行所管下の台場にみる様式火砲

浅川 道夫

## <研究レポート>

『関機規則』について

大出 鍋蔵

黒船来航を知らせる一つの書簡

大出 鍋蔵

## <投稿コーナー>

中島三郎助の孫・清氏会見記

佐々木 寛

ペリーの墓標発見

碓井 文昭

開国と電信

坪 三次

## <講座参加記>

「下田黒船祭」に参加して

石田 妙子

講座「ペリーの手紙」を受講して

佐藤 豊

講座「幕末の海防政策」を受講して

岡野 弘男

「古文書を読む会」を受講して

# 『開国史研究』 第二号

平成 14 年 (2002 年) 3 月発行

口絵資料紹介・解説

山本 詔一

『開国史研究』発刊にあたり

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <総会記念講演>

幕末の海防政策と軍艦建造

東京大学教授

安達 裕之

## <シンポジウム報告>

「小栗上野介」シンポジウム

基調講演

作家

童門 冬二

鼎談

作家

童門 冬二

横須賀市長

沢田 秀男

群馬県知事

小寺 弘之

## <特別寄稿>

ニコラス・B・ウェインライト著

「ジェームズ・ビッドル提督と彼のスケッチブック」

解説・訳

平尾 信子

## <研究レポート>

対岸（安房・上総）の知行所支配村が迎えた異国船

北川 清作

## <投稿コーナー>

対ペリーに関する「疑問」二題

碓井 文昭

狂乱物価と明治維新

水野 滋

小栗上野介のまぼろしの洋館と戦前の東京の洋館たち

伊東 信子

## <講座参加記>

「彼理日本紀行」を受講して

佐々木 寛

「古文書を読む会」に参加して

「幕末の海防政策」を受講して

古谷 彦逸

「揺れ動く天保時代の社会と政治」を受講して

佐藤 豊

## <史跡めぐり>

大津周辺の史跡を訪ねる

走水・鴨居周辺の史跡を訪ねる

# 『開国史研究』創刊号

平成13年(2001年)3月発行

口絵資料紹介・解説「軍艦コロンバス」の絵図 山本 詔一

『開国史研究』創刊にあたり 横須賀開国史研究会会長 山本 詔一

## <設立総会記念講演>

ペリー来航とその時代 横浜市立大学学長 加藤 祐三

## <シンポジウム報告>

小栗上野介 ―横須賀製鉄所の生みの親―

パネリスト

横須賀市長

沢田 秀男

横浜国立大学名誉教授

西堀 昭

群馬県知事

小寺 弘之

仏リール第1大学講師

エリザベット・ドウ・トゥーシエ

コーディネーター

横須賀開国史研究会会長

山本 詔一

## <論文>

小栗上野介と徳川幕府の鋳砲事業改革

浅川 道夫

近世三浦半島海防史概説

中里 行雄

## <研究レポート>

三浦半島を中心とした御台場支配の変遷図

古谷 彦逸

「南浦書信」紹介

鈴木 肇

## <史跡めぐり>

浦賀・久里浜の史跡を訪ねる

小倉 隆代 編

## <開国史講座>

ビッドル来航と鳳凰丸建造

山本 詔一

## <開国史関係文献目録>

山本 詔一 編